

2017年5月1日

【新刊発売のご案内】

「アルスエレクトロニカの挑戦」

なぜオーストリアの地方都市で行われるアートフェスティバルに、
世界中から人々が集まるのか

著：鷲尾和彦

協力：アルスエレクトロニカ + 博報堂

アートとテクノロジーの発想力でイノベーションに挑んだ街、リンツ。
そのクリエイティブメソッドを、38年間の街の変貌と発展の軌跡に学ぶ。

1970年代後半に深刻な地域社会存亡の危機を迎えていた、オーストリアの地方都市・リンツ市。この街を本拠地とするメディアアートの文化機関「アルスエレクトロニカ」は、アートとテクノロジーの発想力を活かし、市民を巻き込んだアートフェスティバル、国際コンペティション、先端的な文化教育施設、産業創出拠点の未来ラボの活動を通して、衰退した工業都市を未来志向の創造都市への変貌を実現させました。

10年間に渡りリンツ市の社会的・文化的変革を目撃してきた著者が、市民を主体とした都市政策・ブランディングに必要なクリエイティブメソッドを、街の変貌と発展の軌跡から探ります。地域社会、そして産業にとっての新たな「創造戦略」とは何か。本書を通じ、成熟期を迎えた日本社会の未来を構想するヒントとなれば幸いです。



「アルスエレクトロニカの挑戦」

著：鷲尾和彦（協力：アルスエレクトロニカ + 博報堂）

判型：四六版 ページ数：256ページ 定価：2,000円(税別)

発行：学芸出版社 書店発売日：2017年5月1日

目次

- 第1章 地方都市で生まれたメディアアートの祭典
- 第2章 公営企業としてのアルスエレクトロニカ
- 第3章 [挑戦1] フェスティバル 市民のためのクリエイティビティ
- 第4章 [挑戦2] コンペティション 国際的ネットワークの中心になる
- 第5章 [挑戦3] ミュージアム 市民の創造性を育む場所
- 第6章 [挑戦4] フューチャーラボ クリエイティブ産業創出の拠点
- 第7章 リンツ市とアルスエレクトロニカ 経済政策と文化政策の両立が社会の質を決める

著者プロフィール

鷲尾和彦（わしお・かずひこ）株式会社博報堂 クリエイティブ・プロデューサー

1991年早稲田大学教育学部社会科学専修卒業。戦略プランニング、クリエイティブ・ディレクション、コミュニケーションデザイン、インタラクティブ・メディア・プロデュース、新規事業開発など、多様な領域における専門性と経験を活かして、これまでに数々の企業のイノベーションを支援。2014年にアルスエレクトロニカと博報堂との共同プロジェクト「Future Catalysts」を立ち上げ、プロジェクトリーダーを務める。プリ・アルスエレクトロニカ審査員（2014～2015年）も務め、アーティスト、イノベーター、研究機関との国際的なパートナーシップを広げている。著書に「共感ブランディング」等。